

—感謝の気持ちを行動で示します—

沖縄県
議会議員
(自由民主党)

中川 京貴

キヨキ

議会ニュース

事務所〒904-0204 嘉手納町水釜6丁目10番7号
TEL098-956-9731
E-mail:info@k-nakagawa.jp
ホームページをご覧ください。
http://k-nakagawa.jp

自民党会派

vol.15

沖縄県議会

〒900-0021
那覇市泉崎1-2-3
沖縄県議会棟603号
TEL.098-866-2754
FAX.098-866-2773



平成26年2月定例会
自由民主党代表質問



平成27年3月定例会
一般質問



平成27年10月 一般質問



平成25年11月定例会 一般質問

自由民主党公認・公明党推薦

皆様方には日頃から大変お世話になり衷心より感謝申し上げます。

私は、嘉手納町議会議員四期十五年、県議会議員二期八年を通し、21世紀ビジョンを推進し、経済面において、国関係発注工事の県内業者への支援、地元業者への分離分割発注、県内下請け業者の工事参入特記事項、最低基準価格の引き上げ(撤廃)、豊見城市への空手道会館建設、大型MICE施設西原町・与那原町マリントウン地区への誘致、白比川拡幅工事開始、中城湾港にクルーズ船が寄港。その他に、各市町村でのバスポート発給業務開始や球陽高校・開邦高校での中高一貫教育、がん・手話条例の制定と、取り組んできた事を実現致しました。

また、嘉手納町においては平成二十一年四月医療費の無料制度が行政、議会の努力により入院・通院が中学三年まで全て無料、給食費も無料。私は県議会に当選以来、中学三年まで医療費の完全無料化を提案致しました。

その結果入院が中学三年まで無料になり、平成二十七年十月一日より小学校一年未満(就学前)まで医療費の無料化が実施される事になりました。

三期目は、医療費の完全無料化と病院窓口での支払いを無くす現物給付的な制度を提案し、県による給食費の無料化も提案していきます。

まだまだ道半ばでございますが、未来ある子供達の為に、一括交付金を活用した様々な教育施策、県民の生活向上、一千万人、一兆円の観光立県に向けて、那覇空港拡張整備、海洋牧場をはじめとする海洋資源開発、那覇から名護まで一時間でもすぶ鉄軌道導入構想、「豊かで住みよい将来性のある幸福度ナンバーワン」の沖縄県を目指して全身全霊を傾け、取り組む決意でございます。

皆様方の熱いご支援をこの中川キヨキにお寄せ頂き、是非とも三たび、県政へ送り出して下さいますようお願い申し上げます。

沖縄県議会議員 中川キヨキ あいさつ

「県民が主役、県民と共に語り、県民と共に創る、結果を残す政治」、これが中川キヨキ県議会議員の一貫した政治姿勢です。これまでの二期八年間、この姿勢を基本に中頭郡区の代表として、本県が抱える諸課題の解決に向けて、また、県政の発展のために力を尽くしてまいりました。そして、多くの実績を積み上げてきております。

地元企業の育成・発展への取り組みを始めとして、本県教育の振興、子ども医療費の無料化、河川等地域防災対策の実現、社会資本の整備、障がい者福祉の充実、中部地域の観光振興など、議会活動を通して実現してきたその成果は県政全般に及ぶとともに、本県の発展を指した多岐にわたる政策提言等も数多く行ってきたと自負しております。

その中の子育て支援の取り組みなど、市町村の財源負担の軽減につながる政策も少なくありません。

また、県政のみならず、基地問題や災害対策など本町の抱える諸課題の解決に向けても、或いは県の施策の本町への導入・実施についても積極的に取り組んでおります。

中川キヨキ県議会議員の「有言実行」「現場主義」を旨とするその「政策実現能力」は一期、二期と実現を積み重ねるごとに県民からの評価も高まり、着実に支持の輪を広げ、今後の活躍への期待も益々大きくなってきております。

沖縄県は今「21世紀ビジョン」の実現に向けた振興計画の折り返しの時期に差し掛かっており、さらには、悲願である鉄軌道導入への取り組みなど、県政の重要な時期を迎えております。また、本町においても基地問題やまちづくりなど諸課題への対応が求められております。

したがって、中川キヨキ県議会議員には、本町出身の県議として、また中頭郡の代表として、地域や沖縄県の発展のために、これからも大いにその実力を発揮して頑張ってもらわなければなりません。

中川キヨキ県議会議員の三選を目指して、皆様方の絶大なご支持、ご支援を賜りますようお願い致します。

選対本部長 嘉手納町長 富山 宏 あいさつ



選対本部長
嘉手納町長
富山 宏

前嘉手納町議長
伊礼 政吉

中川キヨキ

元沖縄県議会議員
宮平 永治

後援会会長
嘉手納町議会議員
德里 直樹

熱い思いと大きな力をいただき、中川キヨキは県議会議員として二期八年間、皆様からご指導ご支援を賜り、議会活動・地域活動をはじめ様々な立場で活躍することができましたことに心から感謝申し上げます。

来る六月五日に執行される「沖縄県議会議員選挙」に向けて多くの皆様のご推挙のもと中川キヨキは立候補を決定しております。県政においては時代の大きな変革のうねりのなか、これまでの在り方が問い直されている今こそ、確たる姿勢で財政の健全化、少子高齢社会、子ども等の貧困、基地問題、経済再生への対応など、安心して快適に暮らしている沖縄県の実現と嘉手納町をはじめとする中頭郡区の発展に向けて中川キヨキは持ち前の情熱と行動力で皆様と県政のパイプ役として大いに力を発揮し私共の期待に応えてくれるものと確信しております。

是非とも中川キヨキに皆様方のお力添えをいただき県議会の中で働かせて下さることを切にお願いし後援会長のあいさつとします。

後援会会長 嘉手納町議会議員 德里 直樹 あいさつ

自由民主党公認・公明党推薦!! 平和で豊かな沖縄県づくり



大田 国土交通大臣に対し、伊是名村・伊平屋村の架橋建設と那覇空港及び公共事業の県内企業優先発注を要請。



遠山清彦 衆議院議員・秋野公造 参議院議員 公明党 沖縄県本部より推薦を頂く。



山口那津男 公明党代表。平和で豊かな 県政づくりと教育・医療・福祉の実績と結果が認められ公明党推薦を頂く。

当時(H21)の吉良州司外務大臣政務官へ要請文を手渡す

●駐留軍等労働者の給付水準に直しに関する意見書●

平成21年11月26日 民主党政府の行政刷新会議の事業仕分けにおいて、駐留軍等労働者の給与水準を地域別賃金に準じて見直すよう意見がまとめられた。
本県には、現在 約9000人の駐留軍等労働者がおり、本県就業者数の約1.5%を占めていることから、県経済や雇用の維持・安定に大きな影響を与える。
事業仕分けにより、憲法第28条及び労働基準法で保障された労働基本権を政府が否定することになる。
憲法等で保障されている労働基本権を否定するような形で駐留軍等労働者の給与水準の引き下げにつながる措置を行わないよう強く要請する。
内閣総理大臣 外務大臣 行政刷新担当大臣等 あて

正式な文章は割愛させていただきます。
全文はHPにてご覧頂けます。

基地従業員給与の大幅見直しで!

●民主党政権へ強く要請●

中川京貴は、民主党政権の事業仕分けにより基地従業員給与の大幅見直し等県民に厳しい対応が迫られている中、県議会でも強いリーダーシップを発揮し県議会代表で政府に強く働きかけを行い、基地従業員の給与を守るために先頭に立って要請を行い問題解決に努めました。



県民との約束

- ★教育こそが沖縄の最大の振興策(一括交付金を活用する)
- ★中学三年まで医療費の完全無料化と病院窓口での支払いを無くす現物給付的な制度 県による給食費の無料化
- ★貧困対策・子供の学力向上「県外進学大学生支援」「認可外保育施設利用料補助」
- ★経済の自立・振興策の着実な実施と県民生活の向上
- ★社会保障の充実と人材育成事業の推進
- ★那覇空港拡張整備に伴い一千万人 観光立県で観光収入一兆円を目指す
- ★鉄軌道導入「那覇から北部まで一時間構想」
- ★海洋資源開発・海洋牧場・高速船を活用した海のインフラ整備
- ★農業・水産業を振興し 沖縄ブランドを創出
- ★日米地位協定の抜本的な見直しと米軍基地の整理縮小及び跡地利用の推進
- ★犬猫殺傷処分ゼロ愛護団体との連携による県営保護シェルターの整備

記者のメモ

100億でゼネコンと勝負

○…米軍発注建設工事の制度について、超党派での勉強会を呼びかけた中川京貴県議(自民・中頭郡区)。県内の建設業者にとって、受注相当額の履行保証(ボンド)が参入の壁になるが「ボンド」の担保として沖縄振興予算や行政基金の活用ができないか。100億程度あれば、県内業者がゼネコンと勝負できる」と万説。これまで県がボンドの軽減や分譲・分割発注を要請してきたが「実現できないのでは意味がない。今のシステムはどう対応するかが大事。結果を求めていく」ときっぱり。
平成 21 年 12 月 21 日 沖縄タイムス

記者のメモ

多くの支持に男泣き?

○…地元の嘉手納町で議会報告会を開いた中川京貴県議(自民・中頭郡区)。昨年は約4500人の支援者が集まったが、ことは野党で迎えただけに「人が集まってくれなかった不安でいっぱいだった。ふたを開ければ、昨年を上回る約600人が詰め掛け、取り越し苦労に。選挙で公約したものの医療費無料化、公共工事の最低制限価格引き上げの進展や、軽便鉄道の復活に取り組んでいることを説明すると、大きな拍手が起き「俺の活動は間違っていないかった。あまりのうれしさに男泣きしたい気分?」
平成 27 年 11 月 27 日 沖縄タイムス

刺激的提案の理由

○…「任期中に中学3年生までの入院費にとどまらず、通院費の無料化も実現したい」と話す中川京貴県議(自民)。県議選を通して「仕事が多かったり、給与が低いため、子どもを病院に連れていけない若者がいる」と実感したという。だが、行政はない袖は振れない。そこで「議会改革として議員定数を削減して財源を確保すればよい」と開会前から刺激的な提案も。定数が削減されても、中頭郡区で引き続きトップ当選を果たせる自信の表れと冷やかされそう。
平成 24 年 6 月 22 日 琉球新報

記者のメモ

子の医療費改善策に熱心
○…子どもの医療費を減らす制度の改善を訴える中川京貴県議(自民・中頭郡区)。県が経済的な事情で医療費を一時負担できない家庭に対して、負担を減らす提案「最終的には貧困家庭だけでなくすべての家庭をカバーするべく、診療を受けられなくなった子育て世帯の完全無料化」
平成 28 年 2 月 20 日 沖縄タイムス

記者のメモ

五輪に空手道 突き進む
○…県議会自民会派のメンバーと上京し、関係者に東京五輪への空手道の競技種目入りを要請した中川京貴県議(自民・中頭郡区)。外添要一東京都知事からは開会式での演武披露の提案を含め「積極的に取り組みたい」と好感を得たという。個人的に「パラリンピックを先行開催したほうが多くの関心が集まる」と提案。すでにスケジュールが決まっているため、困難との反応だったが「2020年は沖縄からパラリンピック応援のツアーを企画し盛り上げる」と応援団長を宣言。
平成 27 年 2 月 23 日 沖縄タイムス

狙いは広く

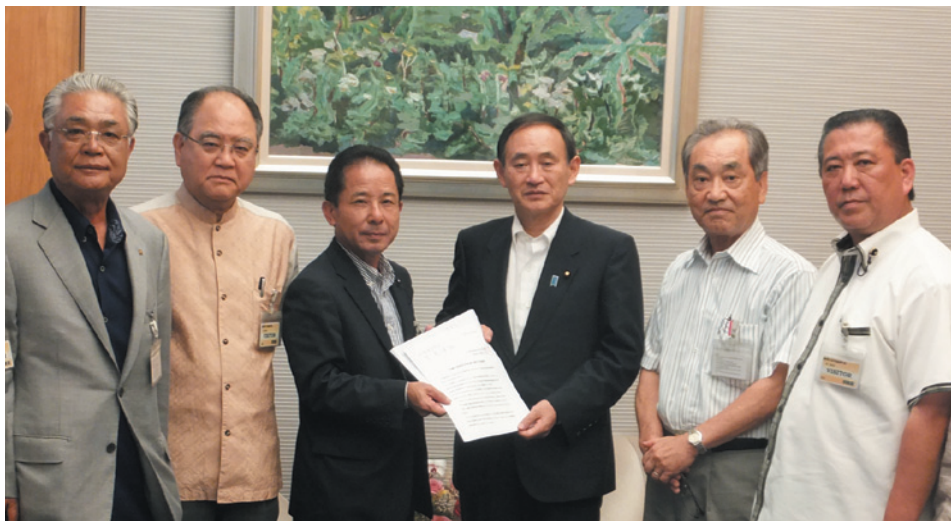
○…県職員の採用でスポーツの専門家の特別枠設置を主張する中川京貴県議(自民)。「野球、サッカーのキャンプ誘致を担当することで大きな効果がある」と持論を展開する。県議会2月定例会で県警の武道採用に空手を含めるよう求め、「武道経験は警察官の資質、能力を見極める上で参考にしている」との答弁を引き出し「心技体の一致が大切だ」と意を強くした。高校2年でレスリング国体成年3位の猛者だけに、特別枠を格闘技全般に広げたい狙いあり。
記者席
平成 23 年 5 月 18 日 琉球新報

やじ物ともせず

○…県議会決算特別委員会の21日、自民の同僚委員から時間を譲り受け、通常倍の20分間、質疑した中川京貴氏一写真。県の財政難の対策として、「基地都道府県と認定してもらい財源措置を求める」などアイデアを次々に掲げ、県の認識を確認。基金の財源を別の目的に使用するなど、少々難しそうな提案に「無理だ」「もう終わっていいよ」と、同党の照屋守之氏からやじも飛んだが時間を使い切り、満足げ。熱意は伝わった?
記者席
平成 22 年 10 月 23 日 琉球新報



安倍 総理総裁に対し、21世紀ビジョンを着実に前進させ、基地の整理縮小と騒音対策・米軍の事件事故と県民の過重な基地負担軽減のため、目に見えるかたちでの取り組みを要請。
(西銘 衆議院議員・遠山 衆議院議員・中川京貴・照屋 県議・桑江 沖縄市長・安倍 総理比嘉 衆議院議員・翁長 県議・島尻 参議院議員・浜比嘉 沖縄市議・宮崎 衆議院議員 国場 衆議院議員)



菅 官房長官に対し、米軍・軍属による事件・事故など不平等な日米地位協定の改定と米軍基地の整理縮小、普天間飛行場の5年以内の返還。また平成27年3月に廃止される見込みの軽油引取税の課税免除措置延長と恒久化を図るよう要請。

記者のメモ



中央官僚輩出へ熱弁
○：沖縄の人材育成のため、中高一貫教育の早期導入を訴える中川京貴県議(自民、中頭郡区)。
特に県内の県立進学校「4K」といわれる開邦、那覇国際球陽、向陽で二

刻も早く導入すべきだと熱弁する。優秀な教師と整った学習環境で6年間じっくり学んでもいい。東大をはじめとする難関大学への進学数を増やすことで「県出身の中央官僚を輩出する」など、国のかじ取りを担うフナチナンチュを増やしたいと意気込む。特に地元中部の球陽で、導入を最優先してほしいのが本音。

平成 26 年 8 月 19 日 沖縄タイムス

記者のメモ



やじられ返しに苦笑い
○：県議会一般質問で、60項目を超える「質問ラッシュ」を繰り出した中川京貴県議(自民、中頭郡区)。理由は「本人いわく、バ

軍機対策の防音工事の拡大、中学までの入院費無料化など「県議になつて4年間で取り組んできた政策がたぐんあつたから」とちやっかりアピール。以前に約40問を質問した共産党県議を「非常識だ」とやじられたことがあったが、今回は自身が「非常識」とやじられ「しっかりオチがついた」と苦笑しき。

平成 24 年 3 月 9 日 沖縄タイムス

記者のメモ

教育には保革関係なし



○：来年開校する中高一貫校への関心の高まりを喜ぶ中川京貴県議(自民、中頭郡区)。開邦中と球陽中で各40人の定員だが、3月の説明会には親子が計2千人詰め掛けた。県議会の2月定例会では執行部に3クラスの設置を提案したが、来年の開校は2クラスのため「生徒にとつては狭き門で、今後は定員を増やした方がいい。学問に励みたい子どもの選択肢を増やしてあげたい」と希望している。県議会は野党の立場だが「教育は保革関係なし。教育こそが最高の振興策だ」と熱弁する。

平成 27 年 5 月 19 日 沖縄タイムス

記者のメモ

2ルート主張 鉄の意志



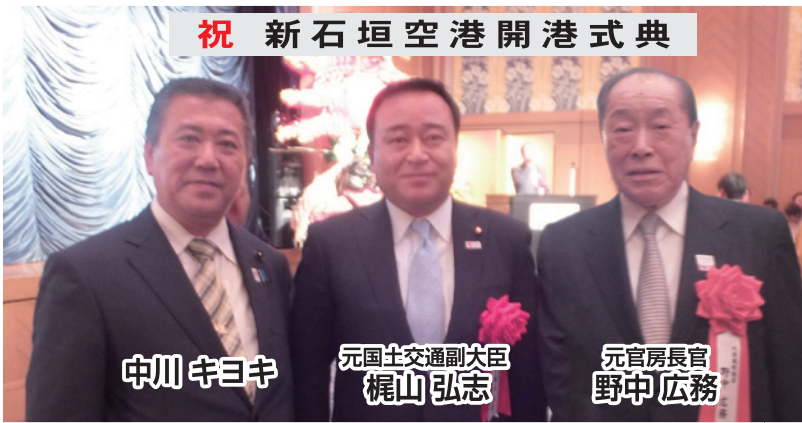
○：中部地区の公共交通網整備を訴える中川京貴県議(自民、中頭郡区)。これまでも那覇から中部までの高速船の就航などを提案してきたが、9月定例会の一般質問では県が検討を進める鉄軌道整備に独自の考えを提案した。県の南北縦断に同調しつつ「那覇」嘉手納・読谷の西回り、南部・沖縄市経由で北部の東回りのモノレール2ルートを」と主張。謝花喜一郎企画部長から「県民と情報を共有し幅広く検討する」と引き出し「1千万人観光達成のために必要です」と念押しも忘れなかった。

平成 27 年 10 月 5 日 沖縄タイムス



自由民主党(元幹事長・防衛大臣)石破 茂に対し、防音工事の告示日の撤廃、空き店舗及び事業所の全室防音、全ての認可外保育施設の防音、ソーラーシステムによる電気代の国庫負担などを要請。

2013 3/2 中川キヨキ 土木環境委員長として 新石垣空港開港式典に出席



祝 新石垣空港開港式典

中川キヨキ

元国土交通副大臣 梶山弘志

元官房長官 野中広務



文部科学大臣 馳浩

待機児童問題解決の為に嘉手納町光の子幼児学園 視察。
《大臣(専修大学出身)はレスリング部で中川(明治大学出身)の先輩だった》

2015 1/31 伊良部大橋開通式典に出席



前土木建築部長 當銘健一郎

中川キヨキ

土木建築部長 末吉幸満



公明党 金城勉議員

中川キヨキ

下地 宮古島市長

西銘 衆議院議員



2013.11.14 13:20

中川キヨキ 土木環境委員長として、トラム(路面電車)を活用した都市計画及び交通政策、軍用施設再生地区などを視察。
(土木環境委員会 ドイツ・フランス 平成25年11月)

中川キヨキ後援会役員と議員団 3期目へ挑戦!!



- 選対本部長
嘉手納町長
當山 宏
- 後援会会長
嘉手納町議会議長
德里 直樹
- 副会長
前嘉手納町議長
伊礼 政吉
- 沖縄県商工政治連盟
嘉手納支部支部長
(株)比謝川カス
渡口 彦則
- 建設業者会会長
(株)德里産業
伝道 勉
- 電水会会長
(有)世名城
宮平 永市
- 元北谷町議会議長
與儀 朝祺
- 元読谷村議会議長
照屋 清秀
- 顧問
元沖縄県議会議員
宮平 永治
前沖縄県議会議員
當山 眞市
- 嘉手納町議会議員
奥間 常明
知念 隆
石嶺 邦雄
仲村 兼栄
新垣 貴人
古謝 友義
奥間 政秀
安森 盛雄
宇栄原 京一
- 読谷村議会議員
長浜 宗則
山内 政徳
當間 良史
比嘉 幸雄
仲眞 朝雄
- 北谷町議会議員
仲地 泰夫(公明党)
渡久地 政志
目取 眞肇
與儀 誠
平良 徹夫(前)
喜友名 朝真(前)
- 北谷支部
上間 盛一(副支部長)
比嘉 満(事務局)

中川キヨキを支える建設業・電水業の皆様



- 理事
知念 光雄
渡慶次 勲
仲田 裕治
町田 宗健
金城 徳昭
玉城 富男
- 嘉手納町建設業社会
福地 裕吉(有)福地組
宮里 辰秀(株)大興建設
稲嶺 一男(有)稲一
伊礼 朝昭(有)伊礼組
大城 次男(有)大建設工業(株)
前川 祐伸(有)尚伸電工
新垣 博孝(有)尚伸電工
前原 信一(有)大旺産業
前川 信一(有)前川工業
- 嘉手納町電水会
前川 祐伸(有)尚伸電工
長嶺 由信(株)比謝川電気
東江 清隆(株)東江電気工事
新垣 起昭(有)中央電水
富永 進(株)おきさん
照屋 寛明(有)東洋電水
前原 信一(有)前川工業
伊礼 朝昭(有)伊礼組
當山 みゆき(株)創設備
渡口 彦武(株)琉建工業
中江 太郎(有)ワールド電気産業(有)
- 有志団・青年部
德里 政彦
金城 敦雄
古謝 剛
上間 靖
中川 康司
古謝 宏樹
金城 吉成
仲宗根 朝也
浜里 吉彦
金城 貴文
伊礼 功
儀間 昭夫
大城 隆太
宇栄原 ゆきの
宮城 直樹
知念 勝士
- 小浜 淑康
新垣 英作
幸喜 勝俊
城間 直樹
松島 猛
伊敷 貴之
金城 貴之
池宮 拓也
浜里 一郎
国吉 久雄
知花 久雄
津波 古正
上地 昭広
比嘉 俊成
我那覇 英光
知花 勝利
中川 安雄

嘉手納本部・読谷・北谷事務所開き

たくさんの方々にお集まり頂きました。
本当にありがとうございました!!



カデナロータリープラザ(大ホール)にて約600名の支持者と共に、盛大にスタートした。
【嘉手納本部事務所開き 3月28日】



喜名公民館にて約400名の村民に支えられて
【読谷事務所開き 4月25日】



北谷事務所にて約150名の支持者と
【北谷事務所開き 4月29日】